

タウンミーティング 会議録

日 時：平成26年11月25日（火） 19：00～20：34

場 所：黒部市国際文化センターコラーレマルチホール

テーマ：「北陸新幹線開業後の黒部市の課題」

～新幹線開業は、交流人口増大のまたとないチャンス

このチャンスに、私たちができることは何だろうか？～

参加者：170名

【事務局】

会場にお集まりの皆様、ご苦労さまです。

ご案内の時刻になりましたので、ただいまから、平成26年度「市長と語ろう！タウンミーティング」を開催いたします。

私は本日の進行を務めさせていただきます、企画政策課の長田でございます。皆様のご協力を賜り、円滑な進行に努めたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、本日のタウンミーティングのテーマは、「北陸新幹線開業後の黒部市の課題」であります。

最初の20分程度で、市長からテーマについてお話しをさせていただきます。会場の皆様は、正面のスクリーンをご覧になりながら、お聞きいただきたいと思っております。

説明の後、会場の皆様方から、順次、ご意見やご提言をお受けし、意見交換することとしておりますが、終了時間は、午後8時30分を目処として進めていきたいと考えておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

また、先ほど受付でアンケート用紙をお配りいたしました。今後のタウンミーティングの参考とさせていただくほか、ご発言できなかった皆様からも自由にご意見を書いていただき、市政運営の参考とさせていただきたいと思っております。

お帰りの際、受付で回収いたしますので、どんな簡単なことでも結構です。記載いただければありがたく存じます。なお、クリアファイルは本日の参加記念としてお持ち帰りください。

それでは、さっそく始めさせていただきます。

堀内市長から、本日お集まりいただきました皆様へのごあいさつと、テーマに関しての基本的な黒部市の考え方を述べさせていただきます。

市長、よろしくお願いいたします。

【市長】

皆さん、こんばんは。

本日は、師走も間近に迫り何かとご多用の中、また、仕事を終えられ、大変お疲れのところ、このように大勢の皆様に参加いただきましたこと、心から感謝を申し上げたいと思っております。

さて、本市が平成18年に合併してから来年で10年周年を迎えようとしております。この間、日々の生活を安心して送ることができるまちづくり、魅力あるまちづくりに、鋭

意取り組んでまいりました。おかげさまで、総合振興計画前期計画の5年間については、おおむね順調に推移できたものと考えております。

現在は、総合振興計画も後期計画2年目に入り、引き続き、各種施策を進めているところであります。大きなところでは、新庁舎や市民病院、また国道8号バイパスや背骨道路など、黒部市の顔となる施設が着々と進んでおります。

そして、来年の3月14日にはいよいよ北陸新幹線が開業いたします。半世紀にわたるこの地域の悲願であり、待ちに待った新幹線が、ここ黒部を走ります。大変、感慨深いものを感じるとともに、新川地域の玄関口となる本市に課せられた責任を痛感いたしております。

開業時には、大変な盛り上がりが予想されます。また、全国的にも北陸が注目され、今まで経験したことのないような交流時代の幕が明けられようとしております。

本日は、この新幹線開業という大きなチャンスを最大限にいかし、いつまでも輝く黒部であるために、開業後の課題を皆さんと共有し、その対応について意見を交わしてまいりたいと考えております。皆さんからも、活発なご発言をお願いいたします。

それでは、説明に入らせていただきます。

詳細については、「課題提起」をご覧ください。

【事務局】

ただいま、市長からテーマについて提案がございました。

会場の皆様から、ご意見やご提言をお受けいたしたいと思っております。

発言される方は、挙手のうえ、係の者がマイクをお渡ししますので、マイクを受け取られてから、地区名あるいは所属団体とご自身のお名前に続き、ご意見を述べていただきます。

また、このタウンミーティングでは、できるだけたくさんの方からご意見を頂戴したいと考えております。発言は、お1人2分以内で、要点を簡潔にお願いいたします。

それでは意見交換を始めたいと思っておりますが、事前に発言通告を4名の方から受けております。まず、その方々から順次、発言いただきたいと思っております。

【市民会議・Aさん】

市長への質問の前に、皆さまに宣伝をさせていただきたいと思っております。先ほど市長の説明にもありましたが、市民会議の96日前イベントがセレネで12月6日にございます。皆様へは4日に折り込みのチラシで配布いたします。ぜひお越しいただきたいと思っております。交流人口を深めるために有名ホテルにたくさん来ていただきプレゼンをしていただきます。よろしく申し上げます。

それでは、私の意見を述べさせていただきます。先ほどの駅周辺の説明の中で、新黒部駅東側に3店舗出店やレンタカーの開設窓口等の話がありましたが、私としてはもう少し、新駅の周りに民間企業のホテルや飲食店などのサービス業を誘致していただきたいという思いがあります。それについて、市の施策があれば、少し詳しくお聞かせいただきたいと思っております。

【市民会議・Bさん】

県外へ遠出する際、私を含め、若者の多くは高速バスを活用しているのが現状だと思うのですが、この世代に新幹線をもっと利用してもらうために何か取り組んでいることはありますか。

【市長】

ありがとうございます。まず、Aさんのご意見についてであります。新幹線駅周辺整備を計画するとき、基本的な考え方として、新幹線駅周辺を新たなまちにはしないということを書いて計画をしました。黒部市は4万2千人ほどの人口でありまして、三日市周辺は市街地として、庁舎や病院やいろいろな商業施設などが一つの核（塊）として出来上がっております。それに対して、新幹線駅周辺に新たなまちをつくるだけの人口規模やまちの力があるかという、いくつもの核（塊）ができることは、なかなか難しいだろうと思っています。富山市のように、黒部市の10倍、42万人ほどのまちであれば、いくつもの大きな塊ができることも当然ありますが、黒部市でそれをすると、人口や力の分散になって、お互いに活性化にならないだろうと思われま。しかしながら、新幹線駅周辺に何も無いのでは困ります。最低限の機能、たとえば、観光案内や待合の場所など、快適性や利便性を備えた機能はなくてはならない。観光案内や買い物ができる場所、食事ができる場所、宿泊できるホテルなどの基本的なものはなければならないということで計画がまとめられました。その中で、今、地域観光ギャラリーの中での観光案内や、待合の機能などは作られました。また、お土産などの物販についても地域観光ギャラリー1階部分や、地鉄の新黒部駅前には食堂や物販関係の店舗ができます。しかしながら、宿泊するところがありません。いろいろとホテル等の誘致を行いました。黒部や高岡などの中間駅に大きな宿泊の投資が入ることは、今は叶いませんでした。今後の利用状況や、この地域の活力等をみながら、宿泊施設に投資していただければと思っています。

もう一つは、いろいろな方々の意見を聞いていの中で、あまりどこにでもない施設を作るべきではないと言われてい。たとえば、現在海外からのお客さんが増えている中で、日本全体でデューティーフリー（免税店）の店が非常に少ない。大型店は難しいが、商品を絞ったかたちで、そのような特徴的なものを黒部で率先してつくれば喜ばれるのではないかという意見も聞いてい。

先ほども言いましたが、大きなまちや施設はつくれませんが、特徴的なものを作っていきたいと思っています。

次に、Bさんの意見についてですが、これについてもいろいろな意見を聞いております。黒部宇奈月温泉駅の1日の利用者は2,700人を目標にしています。そこで、若者の高速バス利用者を新幹線に切り替えてもらうという話について、若い人たちに意見を聞いてみましたが、料金の差があまりに大きくてなかなか難しいと思ひます。バスであれば新幹線の3分の1くらいの料金で行けると思ひますが、バスの料金と競争するのは難しいかなと思ひます。黒部から今高速バスを利用している人は1日平均100人もおられないと思ひます。そんなに大きな人数ではないと思ひますので、少し余裕があれば新幹線を利用していただきたいと思ひます。新幹線はこれまで一度も事故を起こしたことはありません。

高速バスはいろいろなことが起こるかもしれませんので、どちらにするかは利用者を選択してもらえばいいと思います。

【石田・Cさん】

新幹線を起点にした交通網について、市営のバスが、魚津、入善、朝日にあるので、これらを連携して新川地区の観光スポットを周遊するバスを走らせてはどうですか。

【村椿・Dさん】

今朝の北陸中日新聞に、黒部峡谷、宇奈月の話がでておりました。黒部の観光の最大の目玉と言ったら、やはり黒部峡谷であろうし、その拠点は宇奈月温泉であることは間違いないと思っています。ところが、新聞によると、去年の1月延対寺荘が民事再生法の適用申請をした。今年になって4月と7月にニューオータニ、グランドホテルが不動産会社に経営を譲渡した。だんだんお客さんが来なくなって経営が苦しくなっている。新幹線の開業が目の前に迫っているのに、温泉街全体で客を引き付ける魅力づくりや方向性が見えてこない、バブル最盛期には宿泊客が58万人であったが、その後右肩下がりで、2013年には27万人台となり、観光地、温泉地として前途が暗くなってきた。料理、サービス、料金で悪い3拍子がそろっているのが温泉街と言われた、と新聞に書いてあった。

最後に、うれしいニュースとして、新しい観光スポットとして、樺平から上の黒部ルートの一部が開放されることが書いてあります。しかし、これに対する市のコメントが載っていますが、他人事のように言っているように思いました。この機会にもっとお客を増やし黒部市のために全力を尽くしていきたいといったような言い方を記者に言えなかったものだろうかと思い、今日はこのタウンミーティングに参加しました。

【市長】

まず、新川地域の周遊バスについては、先ほども説明いたしました、にいたくを社会実験で行っておりまして、来年の3月から本格的な運行ができればと思っております。

新川地域あるいは富山県でコミュニティバスの運行については、黒部市が非常に遅れておりました。現在何ルートもコミュニティバスの運行を検討しておりますが、遅れた分、これからやるものについては県内で最もいいものを作りたいと思っています。今バスを利用されているのは、学生か高齢者であり、それだけではどのルートを計算しても年間何百万か、場合によっては1ルート2千万円くらいの赤字であり、市から補てんを行わなければなりません。それに対して、ルートによっては企業の社員の移動に使っていただけないだろうか、あるいは、若いお母さん方の子供の送り迎えになどともうまく連携できないだろうか、といったことをしっかりと考えて、できるだけ効率的なバスルートで運行したいと考えています。

次に、Dさんの意見についてですが、この記事は私も読んでおります。確かに、宇奈月温泉の宿泊客は半減しました。しかしながら、来られた人数というのは、かつての団体客の利用から、今は少人数グループや個人客の利用が増えたということでの減少であり、部屋の稼働率から言えば、そんなに極端には半減していません。1部屋に泊まる平均人数が

4人であったのが、2人になれば、それは宿泊者が半分になるということでもあります。

いろいろと経営者が変わったりするのは、今までの古いやり方では対応できないので、新たな個人客や少人数客のニーズに対応できるようにするためであり、この新幹線開業という契機にしっかりと再生し、生まれ変わらなければならないと思っています。われわれ行政も地元の皆さんもしっかりと応援をし、利用をしなければならないのですが、旅館ホテルの当事者の皆さんもサービスや料理など、しっかりとニーズに応えていただきたいと思っています。

豎坑ルートの件につきましても、行政の中で一番宇奈月のことに詳しい中谷副市長が中心となって、関電や黒部峡谷鉄道などと協議しながら、樺平パノラマ新周遊ルートが来年5月8日からいよいよ開始できるようになりました。長年、樺平上部のルート開放を言ってきたのですが、まだまだ入口です。玄関を開けただけですが、大きなチャンスとなったことにご理解をいただきたいと思います。

【三日市・Eさん】

黒部には名水マラソンがあり、スポーツの大会があるのですが、サッカーなどのスポーツで施設や宇奈月温泉を利用した交流はいかがかなと思っています。たとえば隣の石川県では、和倉温泉のところに人工芝のグラウンドが3面あり、能登島にも人工芝のグラウンドを作ったということでもあります。そうしますと、北信越の大会は必ずそこで行われ、和倉温泉を利用するということになります。富山県に目を向けてみると、滑川市に日医工のグラウンドがあるのですが、そこはグラウンドだけで温泉施設はありません。

今年の夏に、埼玉の高校が実際に中ノ口のグラウンドを利用し、格安で天然芝のグラウンドを利用できたと喜んでおられ、また来年も来たいと言っておられました。ぜひ、今後、大会会場として使っていただければと思います。余談ですが、黒部には黒部FCという中学校のチームがあります。今年1年生が北信越の大会をとり、来年リーグに参加します。これを機に子供と親がセットになった人口交流はいかがでしょうか。

【石田・Fさん】

先ほどの説明で、黒部市は安全安心を目指すまちづくりということで非常に心強く思ったのですが、JR黒部駅から総合体育センターへ向かって中学生や高校生がよく歩いていくのですが、道が狭いので、車で通る度にひやひやすることがあります。この辺を改善する目途があればお聞かせください。

【市長】

まず、Eさんのご意見からですが、スポーツや音楽の好きな学生さんや、若い方たちの合宿所を目指すということは、非常に大事で、私もいろいろと考えております。特に宇奈月温泉とコラボをすることについては、温泉街周辺にサッカー等の練習や試合ができる施設が、近くには中ノ口ぐらいしかなくて少ないと思います。宮野山運動公園に陸上競技場や野球場、多目的グラウンド等があり、また周辺には規模は小さいですが宿泊できる施設もいくつかありますので、宮野周辺はスポーツ合宿等に活用できるのではないかと考えています。

宇奈月温泉については、音楽好きの方々が集まってモーツァルト音楽祭が開催されておりますが、5年間やって随分盛大になりました。音楽の好きな学生など若い人たちが練習をしたり、発表をしたりするような温泉街にしていけないだろうかと思っています。そのためには、練習する場所の提供や、持ち運びが難しい大きな楽器も温泉街に来たら準備ができている、長期滞在をしやすいするなど、環境を整えることで音楽合宿のメッカにできないだろうかということも話しております。

サッカーについては、まだまだ練習会場としては規模が小さいのではないかと思います。以前YKKapの選手が練習しておられた、YKK荻生工場のコートは2面とれ、非常に注目できる会場ではないかと思っております。わざわざ見に行ったこともあるのですが、そのような施設とうまく連携できたら誘致等も可能ではないかと思っております。音楽やスポーツ等の合宿所として積極的に発信していくことも非常に大事だと考えております。

次にFさんのご意見については、その通りだと思います。特にJR黒部駅から総合体育センター方面へ向かう最初のところは、道幅が狭く、危険であることは指摘されております。歩道の設置についても検討はしますが、住宅もあり条件整理が難しい状況です。今考えておりますのは、来年3月にJR黒部駅の西側に8号バイパスが開通いたします。そこで、8号バイパスからJR黒部駅へ入っていけるアプローチ道路を整備したいと考えております。アプローチ道路から駅へ向い、車は駅の西側駐車場にとめ、そこから自由に入れる通路を整備したいと考えております。そうしますと、体育センターへ向かうには、西側に降りる通路を歩いていくということになりますので、安全対策になるのではないかと思います。できるだけ早くそのような整備をしたいと思っております。

【Gさん】

黒部宇奈月駅周辺は、滑川市、魚津市、黒部市、入善町、朝日町と大きな1つの自然公園のようなかたちで新幹線を利用するお客さんにとらえていただければいいかと思います。1つの観光地（くろべ牧場まきばの風、沢スギ、ヒスイ海岸、宇奈月温泉、石田浜、YKKセンターパーク、三日市商店など）が離れていて移動がしづらい面があると思います。市としてもそのようなスポットを巡るいろいろな取り組みをバス会社等と連携してやっていってほしいと思うのですが、たとえば、東京でいえば「はとバス」のような1つのパックになった、低価格のパックツアーのようなものを考えておられますか。

【愛本・Hさん】

私は皆さま方と少し違った観点からお願いをしたいと思います。下立を過ぎ宇奈月へ行く道路沿いを見ますと、昔は水田に水がはって青々と稲作栽培がしてありました。ところがここ数年は、あらゆるところで放棄田や雑草地が見られるようになり、悲しいなと思う状態であります。

地区の会合の際でも何度か言わせていただきましたが、せめて宇奈月温泉へ行く道路沿いの放棄田に、市あるいは観光局等に協力をしていただいて、もちろん地区の方々も一緒になって、花木を植えたりして、黒部全体でお客さんを迎えるおもてなしができないものでしょうか。せっかく新幹線でお客さんが来られるという見込みがあるのですから、も

てなしの心として放棄田の対策を考えていただけないでしょうか。当然、地区の方々にはボランティアとして年3回ほど管理をしていただかなければならないのですが、せめてお茶代やはがき代等の提供をしていただいて、改善できないものかと思っております。

【市長】

ありがとうございました。まずGさんの話は、にいバスに通ずると思っております。ジオパークに認定され、それぞれの魅力を再認識し、それらをしっかりと磨き、各地で発信する。新川地域のみどころ、滑川のほたるいか、魚津の蟹気楼、黒部の生地の清水、入善の沢スギなどいろいろありますが、それらを2時間コースや3時間コースなどのルートを作って、見ていただけるバस्तツアーのようなものがないだろうかということで、にいタクの社会実験をしています。これをしっかりと磨き上げ、発信し、たくさんのお客さんにきていただけるようであれば、できるだけかわいくて見栄えがよく、乗ってみたいなと思えるようなバスで、周遊できなかつということも検討しております。私はバスそのものの1つの観光資源だと思っております。寒い中、屋根のない2階建バスで東京を巡っておられるが、それも1つの魅力であると思っております。

次に、Hさんの話ですが、その通りであります。放棄田あるいは見苦しい状態になった田んぼについては、そうあるべきではないと思っております。何とかして地権者の協力をいただきながら、また、どうしてもできないのであれば、花を植えるなり、違ったかたちで利用させていただけるように、了解をいただいて、地元と行政、観光局とも連携をしながらやっていきたいと思っております。具体的にどうするかということについては、1つ1つ対応していきたいと思っておりますので、またご指導をいただきたいと思っております。

【三日市・Iさん】

先ほど、新幹線の開業に合わせたいろいろな取り組みについて聞きましたが、市民の皆さんがいまひとつ盛り上がりおらず、心が一つになっていないのではないかと感じます。もう少し高まりがあったらよいのではないかと思います。そこで、4つ提案があります。1つめは、最近各地で導入されている、ご当地ナンバーを黒部でも導入してみてもどうでしょうか。2つめは、市民の自家用車に新幹線開業のステッカーを張ってもらうのはどうでしょうか。3つめは、県内には河川敷で行われる花火大会がありますが、新幹線開業の年から黒部川花火大会というものを開催するのはどうでしょうか。花火だけPRするでは何にもならないので、これに付加価値をつけて発信してはどうかと考えています。4つめは、富山県としてみたときに、黒部川、神通川、庄川の3大河川を観光の目玉としてこれらを連携した観光ルートを国内はもとより、海外にも発信できないものでしょうか。

【市長】

ご当地ナンバーにつきましては、準備していきたいと思っております。

ステッカーについては、現在、市の公用車にマグネット式の新幹線開業PRシールを貼って移動しておりますが、市民の皆様方も自分の車に新幹線開業を祝う、盛り上げるステッカーを貼るとするのは、アイデアとしてはとてもよいと思っておりますので、そのような

ことも検討したいと思います。

花火大会については、なかなか難しいと思います。宇奈月温泉に冬の花火大会があって、生地には海上花火大会があります。花火大会は各地で行われておりまして、大きな花火大会をイメージしますと、まわりには長岡の花火などあり、それに負けないようなものとなると大変難しいと思います。私は生地の花火大会は、尺玉が海上で広がり、あれはあれで大きな特徴ではないかと思えます。今ある、冬の花火大会、音楽花火、海上花火をもう少し発信したらよいのではないかと思います。

3大河川の話については、私のイメージは、県東部が1つにまとまり、同じ方向を向いて発信していくには何があるかということで考えたら「大自然」があり、何かの共通点でまとまろうということで考えたら「ジオパーク」という発想だったのです。ジオパークの基本的なエリアは黒部川流域で、最上流の鷲ヶ岳源流は、富山市から始まります。富山市から東が一体となって、先ほど説明いたしました、いろいろな特徴に加えて、黒部川流域にある、氷河やジルコン、日本で最も古い鉱物や世界で一番新しい花崗岩が共存するという、この大地の特徴的なものを一緒になって発信していこうと9自治体がまとまりました。そのような意味では、神通川もそうですし、庄川までは広がりませんが、それらが一体となって大自然の特徴を発信していければと考えております。1つのストーリーができないと、なかなか難しいと思いますので、今はジオストーリーをつくり、ジオサイト、ジオポイントというかたちで細かく整理をし、まず、我々地元の皆さんが、それぞれの特徴をわかりやすく簡潔に説明できないといけません。蜃気楼はなぜできるのか。生地の清水どうしてこんなに何百箇所も湧き出ているのか、なぜおいしいのか。ほたるいかながなぜ身投げするのか。など、一人一人が、県外から来た人に、こんなにすごいんだということをわかりやすく説明し、自慢できるようにならなければならないと思っています。そのためには、ストーリーというものを整備する必要があり、それがジオパークの認定につながったと思っておりますので、その点をまた考えていきたいと思えます。

【Jさん】

100年に1回の大きな変革の時代ですから、行政にだけいろいろと注文するのではなく、私が変われば黒部市が変わる、という意気込みで、一人一人が自分でできることをよく見極めてやるのが、来訪されるお客様のためになるのではないかと思います。

人間として大切なことは「1に掃除、2に笑顔、3、4に元気でおかげさまで」という言葉がございます。ぜひ、地鉄の駅のトイレを見ていただきたい。びっくりする気づきがあると思います。そして、一人一人が心の清掃をやらなければならないと思っております。行政にばかり頼らないで、自分たちができることを精いっぱいやって、いい黒部市だなお客様から思われるようにやっていきたいと切に思っております。

【Kさん】

先ほど、車に貼る新幹線開業ステッカーの話がされましたが、私はこの提言を一昨年ある方を通して市の方へ伝えているはずなのですが、なにかあっけらかんと処理されたという思いでいます。それと、先日私用で群馬へ行ってきました。そして、今日も着ている「まっすぐ。くろべ。北陸新幹線」とプリントしてあるTシャツを着て、富岡製糸場や群

馬サファリパークなどで宣伝をしてきました。すると何人もの方が振り返り、「素敵ですね。ちょっと見せてください。まっすぐ。くろべ。北陸新幹線？黒部に北陸新幹線が通るのですか？」と3、4人の方に聞かれました。私は黒部が好きで、ずっと一生懸命PRしています。ステッカーの方、よろしく願いいたします。

【三日市：Lさん】

先ほど、市長からモーツァルト音楽祭の話がありましたが、私もはじめ（第1回）からずっと見てきていますが、その中で一番気になることは、宇奈月の街並みのことです。空き家や廃墟に近いような旅館が多すぎる。権利関係など非常に難しいことはたくさんありますが、また全国的にもいろいろあり、国の方でも空き家施策をどうするかというところまで来ていますが、この機会にまずは宇奈月温泉に手をそめて、空き家を空き家でなくすることからやってみてはどうでしょうか。

私は地元で宇奈月のことをよく知っているのですが、モーツァルト音楽祭で温泉街をぐるぐる回っているときに、これじゃあ次からリーピーターは来ないなというふうに感じます。新幹線で宇奈月温泉を訪れた方が、列車の待ち合わせなりで空いた時間に少し散策しようという時に、お土産屋さんが店をやっているのかどうなのかわからない状態や、昔の看板がそのままになっていてお店をやっていないというものが、特に目に付くと思います。何よりもまず、私の考えとしては、宇奈月温泉の空き家、街並みを少しでも改善し、印象に残るように、人は見た目8割で、見た目がよければこのまちはいいなというふうになるのですから、1つでも2つでもいいですから、美観的あるいはギャラリーなどいろいろな方法があると思いますので、なにか活用法を考えて権利をお持ちの方と話をし、1つずつ解決していくことが大事だと思います。

【市長】

まず、Jさんの地鉄のトイレの件につきましては、地鉄さんの所有物について、公の場で批評はできませんが、決して良い状態ではないと思います。黒部市としてトイレ文化をどうするのかということは非常に大事だと思っており、お願いしてもなかなか改善されないものですから、石田駅前については、市の方で整備させていただきました。この後、電鉄黒部駅、東三日市駅、愛本駅、これらのトイレについても、このままではいけないと思っておりますので、近いうちに順番に、地鉄さんと協議しながら改修していきたいと思っております。このことは非常に大事なご指摘であったと思います。

次に、Kさんのステッカーについて、当時どのような対応がされたのかはわかりませんが、非常に良いアイデアでありますし、そんなに予算がかかるわけではないと思います。開業してからでも「新幹線に乗って来てください」といったようなステッカーも作ろうと思えばできますから、3月14日だけではなく、その先もこの地域に来ていただくためのデザインも考えながら進めていきたいと思っております。

次に、Lさんの空き家の話ですが、国の方の議論がもう少し深まると思っておりませんが、なかなか空き家のガイドラインのようなものがでてきませんので、国の議論を待つわ

けにはいきません。そこで、今年度中（来年の3月まで）には空き家バンクは創設したいと思っております。また、来年早々には、実効性のある空き家条例を設けたいと思えます。条例を作ることはそんなに難しいことではないのですが、これまで作っても実効性のないものがほとんどでしたので、実効性のあるものについて来年度条例化を目指したいと思えます。そうすることにより、景観条例など、宇奈月温泉街の景観整備についてもより踏み込めると思えます。

【事務局】

これまで、いろいろなご意見をいただきましたが、予定の時間も過ぎております。再質問等もあるように見受けられますが、本日はこれをもちまして、意見交換を終了とさせていただきます。なお、意見等がございましたら、アンケート用紙に書いていただくか、市役所の窓口「市民の声」の提言箱が設置してありますので、そちらに書いていただければ回答もできるかと思えます。

それでは、本日のタウンミーティングの閉会にあたり、本日お集まりいただきました皆様へのお礼も含めまして、堀内市長からご挨拶申し上げます。

【市長】

大変ありがとうございました。冒頭も申し上げましたが、今日は大変寒い中、またお疲れのところこのように大勢の皆様にお集まりいただきまして、誠にありがとうございました。

先ほど来、10人以上の方からいろいろなご意見を伺いました。それぞれ新幹線の開業に対する期待の大きさがひしひしと伝わってくる内容のご意見であったと思えます。この新幹線開業という大きなチャンスをしっかり生かすということと、それをどうやって持続させるかということは、大変難しいテーマであります。生かしていかなければなりません。そのためには、少しでもこの地域をよくしよう、この機会を生かそうというような住民の皆様方の熱い思いが一番大事だと思えます。その思いが強ければ強いほど効果が大きくなると思っております。我々市当局はもちろんであります。住民の皆様、あるいはいろいろな団体の皆様と連携をしながら、言ってもなかなか聞いてもらえなかったという意見が先ほどありましたが、そのようなことが無いように、やれることはできる限り実施しながら、これからしっかりと準備を進めてまいりたいと思えます。

本日は、多くの皆様方に遅くまでご参加いただきましたことに対し、心から御礼を申し上げますとともに、新幹線開業はスタートでありますので、それを生かせるように頑張ってくださいますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。閉会のご挨拶にかえさせていただきます。本日は大変ありがとうございました。

【事務局】

それでは以上で、タウンミーティングを終了いたします。お忘れ物のないよう、また、お気をつけてお帰りいただきたいと存じます。

なお、受付時にお配りいたしました青い紙のアンケート、こちらの方のご協力をよろしく願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

— 了 —